

学校教育目標及び経営方針

薩摩川内市立滄浪小学校

I 学校教育目標

1 校訓

明るく かしこく たくましく

2 学校教育目標

子どもの夢を育み、自立と共生の基礎を育成する。

21世紀を生きていく子どもたちに必要となるものは、夢に向かって自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力であり、また、自らを律し、他人と協調し、他人を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性である。その基となるのは健康や体力である。これらを「生きる力」と考え、夢に向かってたくましく生きていく子どもたちの姿を思い描きつつ、その基盤づくりを本校教育の目標とした。

3 めざす子ども像・学校像・教師像

(1) めざす子ども ～ 豊かな個性を発揮する子ども

～きらきら・きびきび・はきはき滄浪の子ども～

- きらきら輝く子ども・・・明るく、思いやりのある子ども
- きびきびした子ども・・・自ら考え、進んで学ぶ子ども
- はきはきとした子ども・・・体を鍛え、がんばりぬく子ども

(2) めざす学校像 ～ 明るく活気に満ちた学校

～一人一人が主役、楽しい滄浪小学校～

- 静と動のけじめのある学校・・・時と場を考え、礼儀と自分を律する心を大切にしている学校
- 美と感動と笑顔のある学校・・・美しく整った環境と意欲と活気に満ちた学校
- 家庭や地域に開かれた学校・・・家庭・地域との連携のもと信頼と協調でつながった学校

(3) めざす教師像 ～ 教育への情熱と責任感のある信頼される教師

～子どもと教えること、学ぶことの好きな滄浪の教師～

- 指導力のある教師・・・児童愛にあふれ、一人一人の成長を褒め、伸ばす教師
- 使命感に燃える教師・・・職責感と情熱をもち、子どもと真剣に向き合う教師
- 心豊かで学び続ける教師・・・心身共に健康で、豊かな人間性と専門職として常に指導力向上に努める教師

4 特色ある学校づくり

(1) 学校自慢

- 「海・川・山が呼んでいるよ」の特認校として学校と地域・家庭が連携した感動あふれる体験活動
- 自他の生命を大切にし、思いやりの心を培う異学年交流（全校活動）での教育活動の推進

(2) 一事徹底

明るく元気よいあいさつ・返事と整理整頓

II 学校経営方針

1 学校経営の基調

日本国憲法・教育基本法・教育関係諸法に基づき、新時代の公教育の理念に立ち、平成 22 年度の鹿児島県・川薩地区・薩摩川内市の教育行政の重点施策を基盤とした学校経営を進める。

児童や地域の実態を考慮し、学校や地域の伝統を重視して、変化する社会に対応できる生涯学習の基盤づくりを進める。

2 学校経営の方針

本校児童の実態や地域の特性に立ち、全ての教職員の強い職責感のもと、相互に協力し合い、具体的な体験や活動を重視する教育を進めると共に、一人一人を大事にした確かな教育実践を通して、学校教育目標の具現化に努め、活力ある滄浪の教育を推進する。

- (1) 歴史と伝統を踏まえ、将来の展望に立つ特色ある学校教育の推進に努める。
- (2) 学習指導要領のねらいを踏まえた創意ある教育課程の編成と実施により教育目標の達成を図る。
- (3) 人間尊重の精神のもと、生命尊重・思いやりの心等人権教育の推進に努める。
- (4) 自ら学ぶ意欲や態度を重視し、特別支援教育の視点から個に応じた指導を進め、学力向上に努める。
- (5) 子どもの活動の足跡のある美しい学校環境を整備する。
- (6) 公教育と公立学校の使命と責任を自覚し、家庭や地域との連携を深め、期待に応える学校をつくる。
- (7) 目標達成や教育課題解決のために、機能する校務分掌の実現を図ると共に、計画的・効果的な研修を推進する。
- (8) 薩摩川内市小中一貫教育特区指定を受けての英語活動やコミュニケーション科の育てたい力を踏まえた授業実践に努める。
- (9) 統廃合に向けた諸業務を計画的に進め、滄浪小学校の有終の美を成す。

3 学校教育課題

課題 (1) 基礎学力の向上

- 基礎的・基本的内容を身につけ、自ら学び、新しいことに挑戦できる子どもを育てる。
 - ・分かるまで教える・・・・・・・・・・学習のねらいや内容を明確にし、基礎基本を重視し、評価と指導を繰り返し、分かるまで教える。
 - ・厳しさと優しさで教える・・・・・・・・・・学習の基本的なしつけやガイド学習等複式学級の学習のしかたを身につけさせ、児童の意欲を喚起しながら、具体的な活動や体験で教える。
 - ・連携で教える・・・・・・・・・・小中一貫教育、教師の得意分野を生か

した交換授業，TT授業，全教師であたる全校挑戦，家庭との連携（20分×学年＋10分）

課題（2）思いやりの育成

- 勤労と奉仕の精神を持ち，感性豊かな心で，行動できる子どもを育てる。
 - ・やさしい心を育てる・・・・・・・・縦割り活動や全校児童体験活動を通して，思いやりの心を育てると共にボランティア活動への意欲を高める。
 - ・美しい心を育てる・・・・・・・・感性を高める体験活動や読書活動を通して，心を肥やし，感動する心を育てる。

課題（3）体力と気力の育成

- たくましい体力やくじけない気力を持ち，ねばり強い子どもを育てる。
 - ・ねばり強さを育てる・・・・・・・・早寝早起き朝ごはんの推進，1校I運動（一輪車）や自主的な体力づくり及び委員会活動や係活動を通して，最後まで投げ出さない意欲を育てる。
 - ・予防意識を育てる・・・・・・・・保健・健康指導や安全指導を通して，危険から自らの身を守る方法を体得させる。（KYT指導）

課題（4）開かれた，特色ある学校づくり

- 地域の中の学校として，地域に支えられ，地域の期待に応える学校づくりに取り組む。
 - ・開かれた学校・・・・・・・・教育活動の周知と情報発信に取り組み，地域の人材を活用した教育活動や外部評価の活用を図る。
 - ・特認校としての学校・・・・・・・・地域の自然や環境を生かした体験活動の充実と地域の人々との交流に取り組む。

4 努力点及び具体策

（1）教育課題解決と目標達成に努め，活気と特色ある学校づくりを進め，「生きていく力を育てる教育実践」を進める。

- ① 目標達成のために，具体目標や努力点を設定し実践する。
- ② 各教科・道徳・特別活動等の努力点や実践策を設定し実践する。
- ③ 学校経営と学年・学級経営と一貫性と連動を図り経営を進める。
- ④ 家庭・地域及び中学校との連携を深め，効果を高める工夫と改善を図る。

（2）一人一人の子どもが意欲的に活動する学習指導を展開し，学ぶ力を高める。

- ① 子どもの実態や指導目標を的確に把握し，方法や技術を工夫し実践する。
- ② 子どもの学習意欲・活動を大事にし，個性発揮のできる場と機会を設定する。
- ③ 体験的学習や問題解決学習を進め，基礎的・基本的内容の定着を見届ける。
- ④ 子どもが総合的に学ぶ場・表現する場を設定し，支援と見届け（まとめ10分）を実践する。
- ⑤ 郷土の自然・歴史・文化・人・行事や情報を活用した学習を進める。
- ⑥ 複式学級の指導方法を研究し，工夫・改善を加え，各学級の経営・指導に適用する。

（3）子どもの活動に現れるような積極的生徒指導を全教育活動の中で進める。

- ① 個の「ちがい」や「よさ」を認め，伸ばしていく実践を進める。
- ② あいさつ・身なり・持ち物・整理整頓などを習慣化する。
- ③ 子ども一人一人を大事にし，温もりのある指導を進める。
- ④ 教育相談や事例研修を行い，生徒指導に生かしていく。
- ⑤ 家庭・地域・関係機関との連携を密にして効果を高める。

- (4) **保健安全・給食・体育指導の充実に努める。**
- ① 保健安全指導を工夫・改善し、自己管理能力・危険予知能力を高め事故防止に努める。
 - ② 体育指導を工夫・改善し、自主的健康づくりの活動を進める。
 - ③ 食の指導・給食指導を工夫・改善し、学校給食を充実させる。
 - ④ 体育指導を工夫・改善し、一人一人の到達目標を達成させる。
 - ⑤ 学校敷地内禁煙を実施し、「禁煙・薬物乱用防止教育」の充実を図る。
 - ⑥ 1校1運動（一輪車）の充実を図る。
 - ⑦ 「危険箇所マップ」をもとに、危険予知能力の育成に努める。
- (5) **他人を思いやる心の教育**
- ① 「生きること」「生命尊重」を考えさせる指導の実践・充実に努める。
 - ② 子どもの心をゆさぶり、教育効果を高める資料研究・資料活用を進める。
 - ③ 「思いやりの心」「いじめを許さない心」の教育を進める。
 - ④ 勤労・奉仕の体験活動の機会を設定し、豊かな心を育てる教育を進める。
- (6) **集団活動の機会と指導を通して、自主的に実践する子どもを育てる。**
- ① 行事の効果的運営・事前事後指導・計画改善を適切に進める。
 - ② 子どもの創意工夫と望ましい実践活動を進める支援を工夫する。
 - ③ 子どもが問題意識とめあてをもって活動できるように工夫する。
 - ④ 創意工夫のある特色ある行事の計画や運営の改善を進める。
- (7) **人権についての正しい認識を深め、人間尊重の教育を進める。**
- ① 生命尊重やいじめ問題根絶を図る教育を全教育活動の中で進める。
 - ② 人権尊重の視点を重視する学級経営や思いやりや親切の心を育む仲間づくりの実践を進める。
 - ③ 研修の機会を通して、正しい理解と認識を深める。
 - ④ セクシャルハラスメント相談窓口を設置し、相談活動を充実させる。
- (8) **教育課題を踏まえ、課題解決をめざす校内研修を進める。**
- ① 研究テーマ・研究仮説を踏まえ、計画的研修を進める。
 - ② 実践を重視する研修を行い、理論と実践が結びつくようにする。
 - ③ パソコン活用等の実践的研修を行い、授業での積極的活用を推進する。
 - ④ 小中一貫教育を推進し、中学校ぐるみの学力向上を研究する。
- (9) **多様な体験活動の場を多く設定し、夢を育む教育を進める。**
- ① 郷土の自然・史跡・産業等を知る体験活動の機会を設ける。
 - ② 郷土の自然や人材を活用する体験学習を工夫する。
 - ③ 薩摩川内元気塾の運営を工夫し、郷土に誇りを持ち、夢や希望に向けてがんばる子どもを育てる。
 - ④ テレビ会議システム等やその他の交流活動を通して、人生の基盤となる「ふるさと意識」を高める工夫をする。
 - ⑤ 英語教育について研究し、国際理解教育の深化に努める。
- (10) **情操を高め、美しく落ち着いた環境づくりに努める。**
- ① 環境教育の趣旨を理解し、全教育活動を通して実践する。
 - ② 花いっぱい学校環境づくりや栽培体験の活動を進める。
 - ③ 教室や校内の掲示環境の工夫に努め、掲示広報活動を充実させる。
 - ④ 保護者や地域との連携による環境美化奉仕活動を推進する。
- (11) **家庭・地域との連携を密にして、三者の教育力が発揮される開かれた学校づくりを進める。**
- ① 保護者や地域住民の思いを大切に教育実践を推進する。
 - ② 学校だより・学級通信・保健だより等の内容充実に努める。
 - ③ 開かれた学校評価を導入するとともに、学校・学級の情報公開に努め、協力態勢を確立する。